

2026年 9 月

アジア・パシフィック経済マンスリー

株式会社 第一ライフ資産運用経済研究所

経済調査部 主席エコノミスト

阿原 健一郎 (TEL: 050-5470-4868)

実体経済サマリー

実質GDP（前年比、前期比年率、%）								CPI（前年比、%）			失業率（%）		
		2024	2025	2025 Q3	2025 Q4	2026 Q1	2026 Q2	2025 Q4	2026 Q1	2026 Q2	2025 Q4	2026 Q1	2026 Q2
	中国	5.0	5.0	4.5	4.5	4.9	4.1	0.6	0.8	1.1	5.1	5.3	5.1
	インド	7.4	7.3	8.8	7.5	8.7	7.3	0.6	3.1	3.9	7.0	6.7	6.7
	韓国	2.2	1.1	5.6	-0.4	7.5	2.6	2.4	2.1	3.0	2.9	2.9	2.8
	台湾	5.3	8.8	6.7	28.7	10.2	5.7	1.3	1.2	2.2	3.4	3.3	3.3
	香港	2.6	3.6	3.8	4.3	12.1	-2.5	1.3	1.6	1.9	3.8	3.8	3.7
	シンガポール	5.3	5.0	7.8	5.2	5.0	5.7	1.2	1.5	1.8	2.0	2.0	2.0
	インドネシア	5.0	5.1	5.1	5.4	5.4	5.2	2.8	3.9	2.9	4.7	4.7	4.7
	タイ	2.9	2.4	-1.4	7.6	2.3	-0.7	-0.5	-0.5	2.7	0.7	0.9	1.0
	フィリピン	5.7	4.4	0.9	3.0	3.7	2.3	1.7	2.8	6.8	4.6	5.3	4.8
	マレーシア	5.2	5.2	8.3	5.6	-0.1	10.5	1.4	1.6	2.0	2.9	2.9	3.0
	ベトナム	7.0	8.0	31.9	30.4	26.6		3.1	3.1	4.8	2.2	2.2	2.2
	オーストラリア	1.1	2.0	2.0	3.7	1.1	1.7	3.6	4.1	3.9	4.3	4.2	4.4
	ニュージーランド	-0.2	0.7	5.0	1.4	4.3	1.4	3.1	3.1	4.1	5.3	5.7	5.4

(注) ヒートマップは各国各指標の直近5年のZ-score（平均からの乖離）を計算、Z-scoreが+3以上を最も濃い赤色（上振れ）、▲3以下を最も濃い青色（下振れ）で表示。CPIと失業率は四半期の平均値。

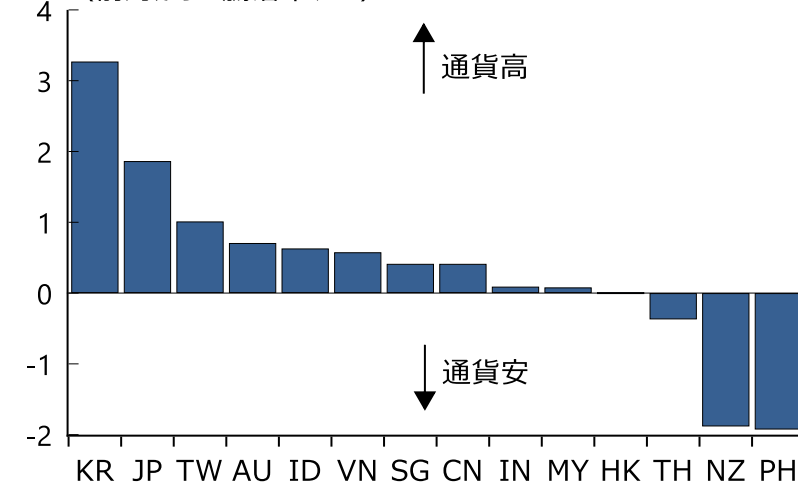
(出所) Macrobondより第一ライフ資産運用経済研究所作成

1

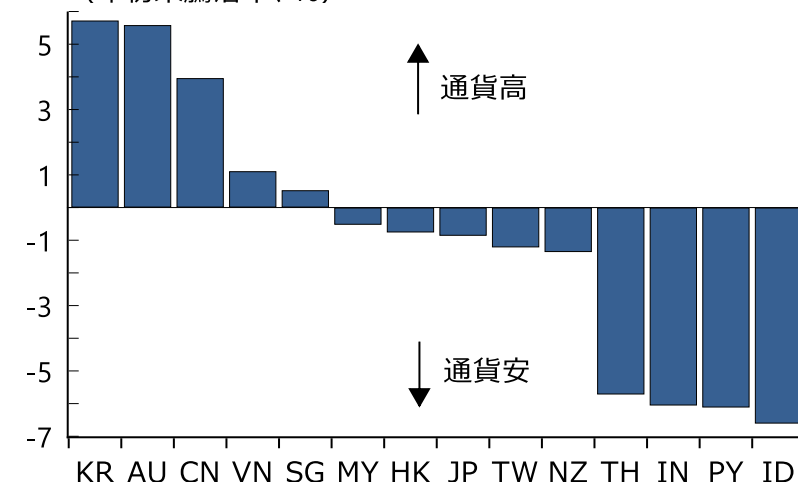
金融市場サマリー

為替

(前月からの騰落率、%)



(年初来騰落率、%)

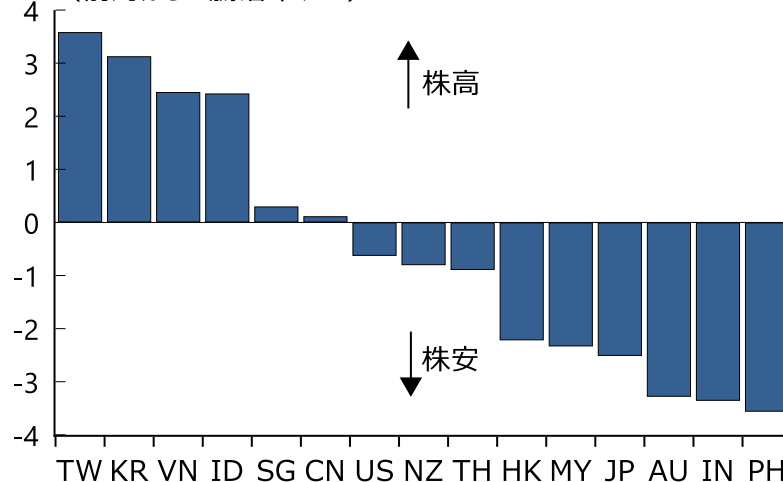


(注) 前月からの騰落率は26年8月平均と9/23日までの9月平均との比較、年初来騰落率は2025年終値と9/23日終値との比較。
為替は対米ドルの名目為替レート、株価は各国の主要株価指数。各国コードは、AU=オーストラリア、CN=中国、HK=香港、IN=インド、ID=インドネシア、JP=日本、KR=韓国、MY=マレーシア、NZ=ニュージーランド、PH=フィリピン、SG=シンガポール、TW=台湾、TH=タイ、US=米国、VN=ベトナム。

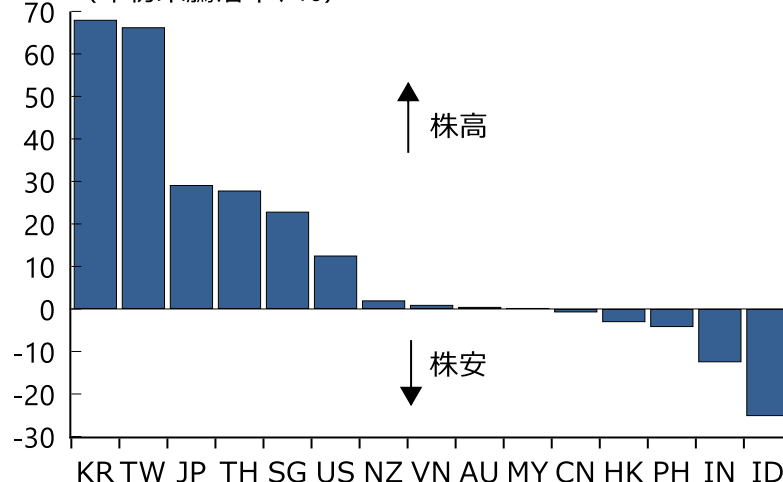
(出所) Macrobondより第一ライフ資産運用経済研究所作成

株価

(前月からの騰落率、%)

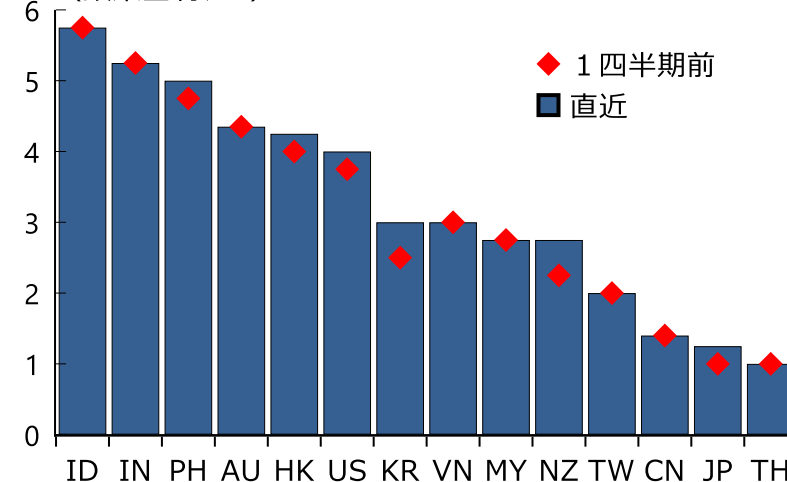


(年初来騰落率、%)



政策金利

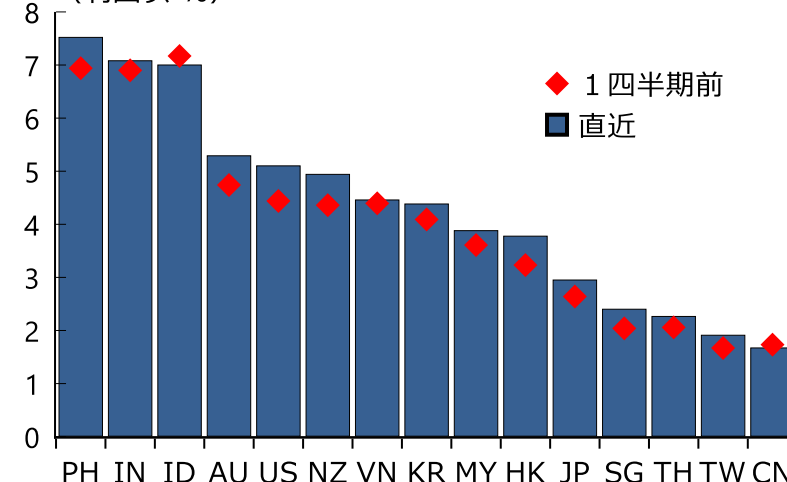
(政策金利、%)



(注) 直近は9/23日時点。

10年国債利回り

(利回り、%)



(注) 直近は9/23日時点。



中国

■ 製造業PMIは拡大ペースが加速

8月のRatingDog製造業PMIは51.5と、前月（50.9）から拡大ペースが加速。世界的なハイテク・AIインフラ需要を背景に電子機器などの新規受注が堅調に推移した。

■ インフレ率は小幅に加速

8月の総合CPIは前年比+0.8%と、前月（同+0.5%）から小幅に加速したものの依然として低水準で推移。非食品分野は同+1.2%上昇した一方、豚肉価格が同▲11.8%と下落して食品全体のデフレ圧力を強め、総合CPIの上昇を抑えた。

■ 消費は低位で推移

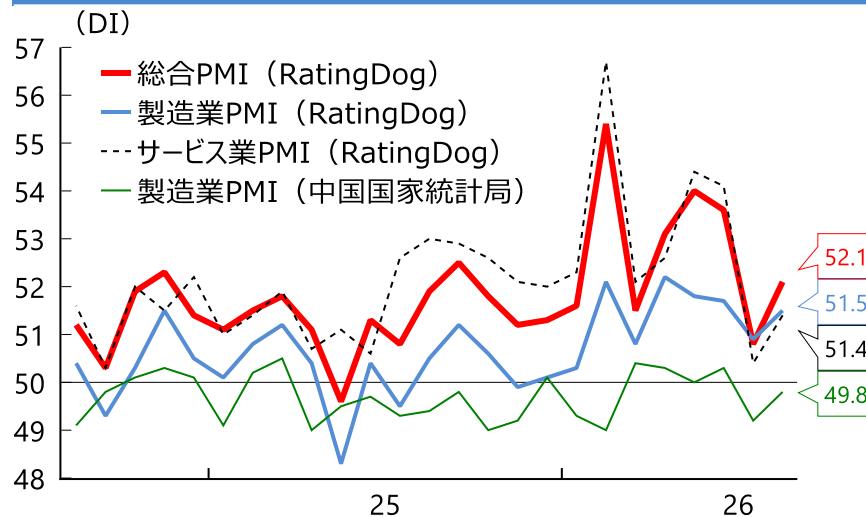
8月の小売売上高は前年比+0.4%にとどまり、消費の回復ペースが鈍化。8月の不動産販売面積は同▲13.0%と、依然として減少が続いており、不動産市況の低迷が長期化している。政府はリスク抑制のため未完成物件の事前販売規制を強化を打ち出している。

■ 輸出は増加幅が拡大

8月の輸出は前年比+25.0%と、前月（同+23.9%）から増加幅が拡大。世界的なAI投資の拡大を背景に、半導体などのハイテク製品や機械電気製品の出荷が増加した。

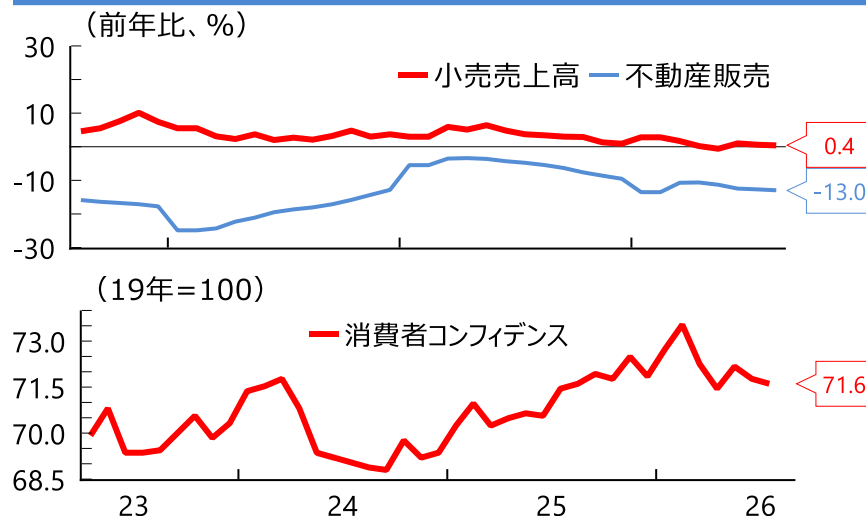
（出所）Macrobond、S&P Globalより第一ライフ資産運用経済研究所作成

PMI



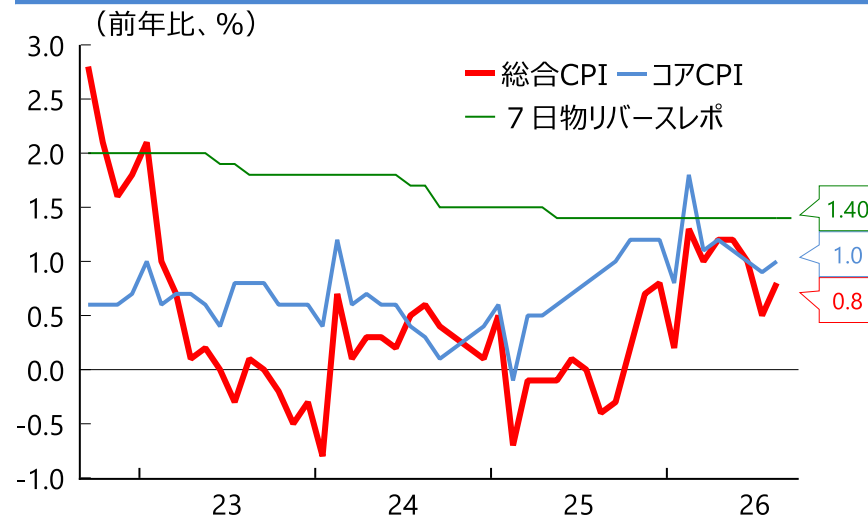
（注）直近は8月。

消費



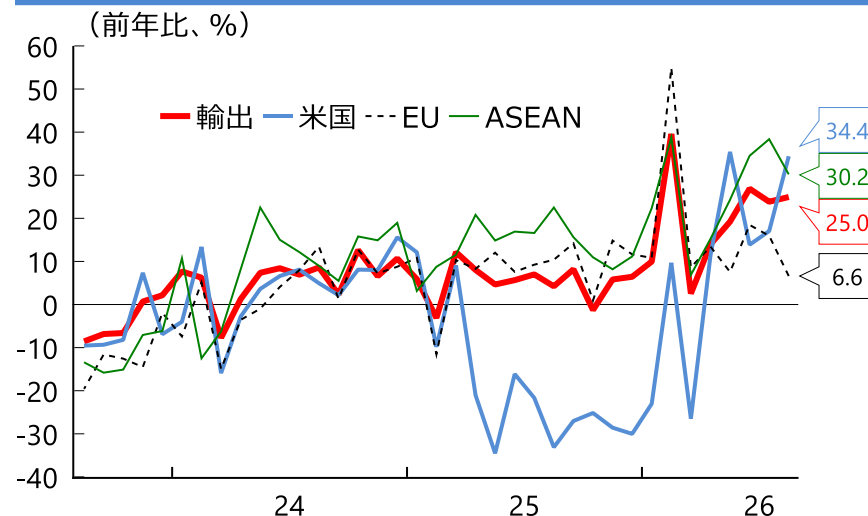
（注）直近は消費者コンフィデンスが7月、その他は8月。不動産販売は面積ベース。

インフレ率と主要政策金利



（注）直近は7日物リバースレポが9/23日、その他が8月。

輸出



（注）直近は8月（速報値）。米ドル建ての輸出額。



インド

■ PMIは引き続き拡大

9月の総合PMIは56.5と、前月（54.3）から拡大ペースが加速。製造業PMI、サービス業PMIともに加速し、ヘッドラインを押し上げた。

■ インフレ率は加速

8月の総合CPIは前年比+4.8%と、前月（+4.4%）から加速。モンスーン期の天候不順による一部野菜、生鮮食品の価格高騰に加え、国際原油価格の底堅さが輸送コストを押し上げた。

■ 自動車販売は引き続き増加

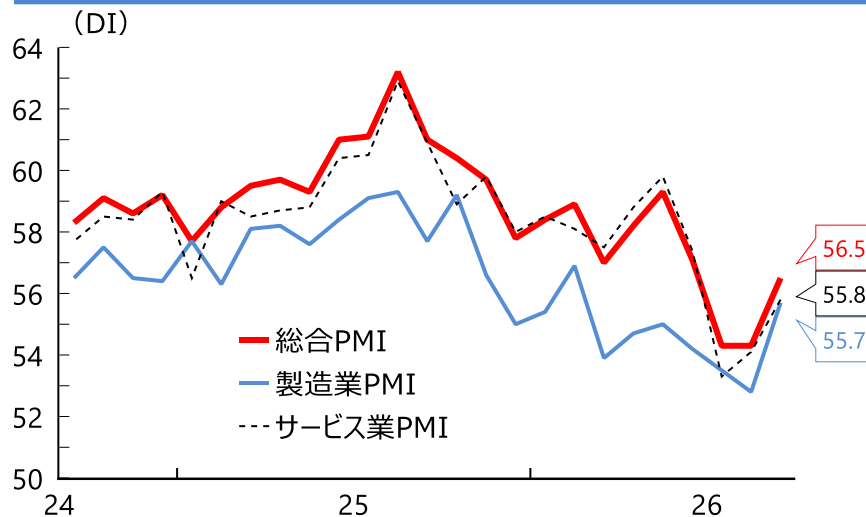
8月の自動車販売台数は前年比+17.5%と、前月（同+25.9%）に続き増加。昨年9月からのGST（物品サービス税）引き下げにより、二輪車や乗用車、商用車など幅広い車種で販売が増加した一方、モンスーンの降雨不足によりトラクターの販売は鈍化した。

■ 鉱工業生産は引き続き増加

7月の鉱工業生産指数は前年比+6.7%と、前月（+8.8%）から拡大ペースは鈍化したものの高水準を維持。鉱業部門の縮小が下押し要因となったが、製造業および電力部門の力強い稼働が全体を支えた。

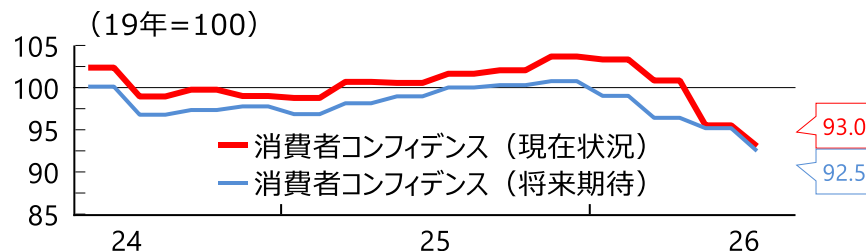
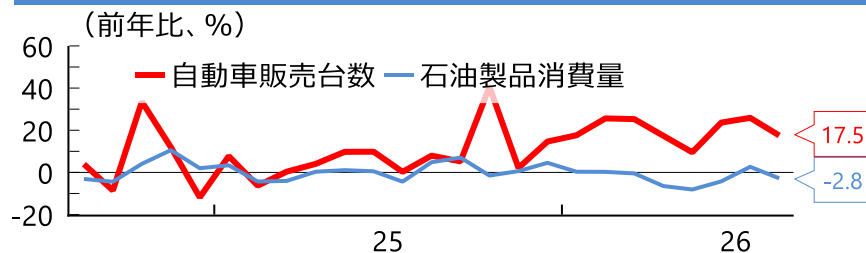
（出所） Macrobond、S&P Globalより第一ライフ資産運用経済研究所作成

PMI



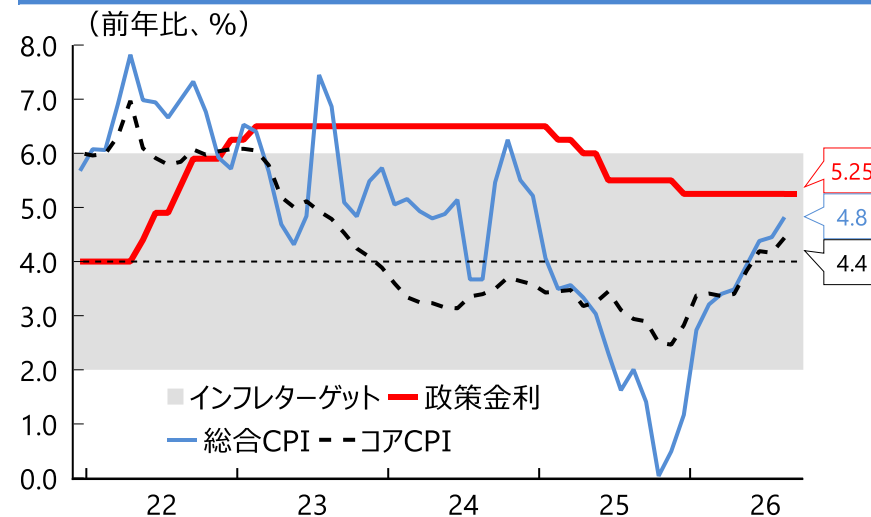
（注）直近は8月。

消費



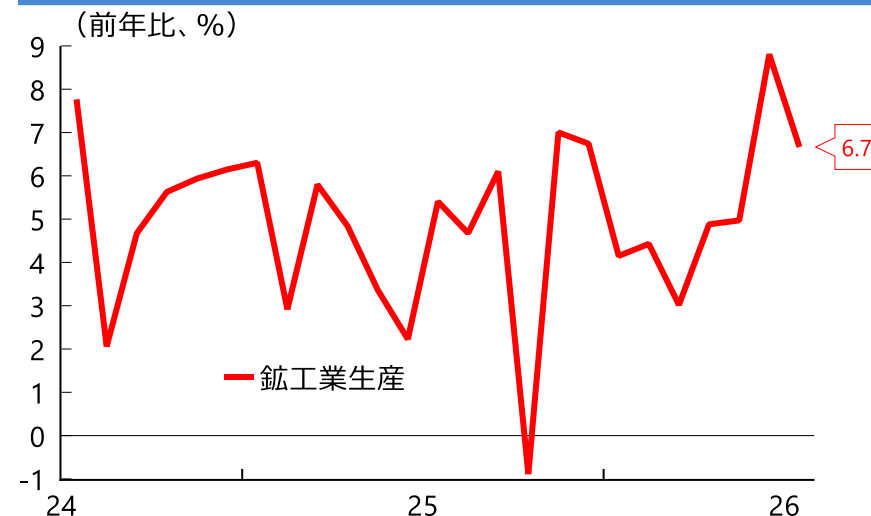
（注）直近は消費者コンフィデンスが7月、その他は8月。自動車販売台数は二輪車などを含む。

インフレ率と政策金利



（注）直近は政策金利が9/23日、その他が8月。

鉱工業生産



（注）直近は7月。



韓国

■ PMIは拡大ペースがわずかに鈍化

8月の製造業PMIは52.3と、前月（53.1）からわずかに鈍化したものの、景気拡大の節目である50を引き続き上回った。

■ BOKはインフレ抑制の利上げ

8月の総合CPIは前年比+3.1%と、前月（同+2.8%）から再加速。前年8月に、通信大手が顧客情報流出への補償対応として携帯電話料金を50%減免していた裏要因で、情報通信の寄与度が拡大、総合CPIを押し上げた。

8月27日、韓国銀行（BOK）は利上げを決定（+25bps、2.75%→3.00%）。利上げの背景については、声明文で「インフレ圧力の拡大を先制的に阻止するとともに、金融安定リスクへの警戒を継続する必要がある」とした。

■ 消費は前月比で減少

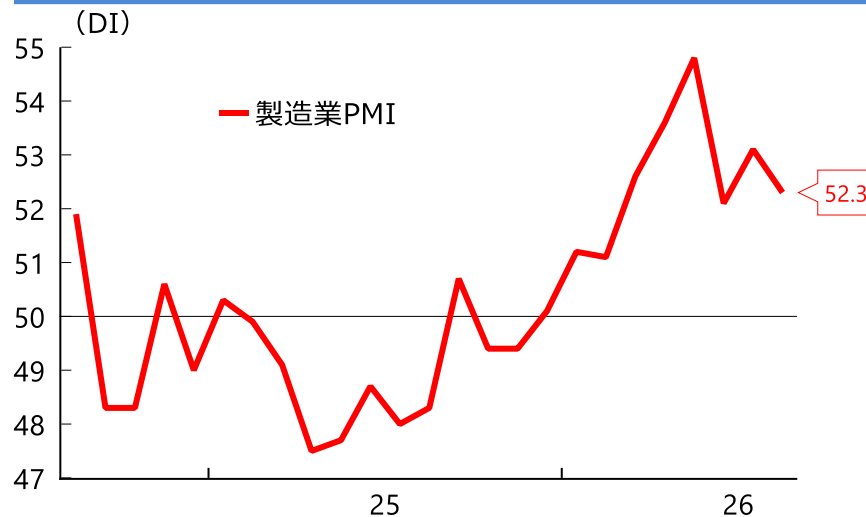
7月の小売売上高は前期比▲2.4%と、前月（同+2.7%）から減少に転じた。

■ 輸出は引き続き増加

8月の輸出は前年比+68.7%と引き続き増加。世界的なAI設備投資の拡大により、半導体輸出が同+209.1%と驚異的な伸びを示し、自動車の一時的落ち込み（同▲29.8%）を完全に相殺した。

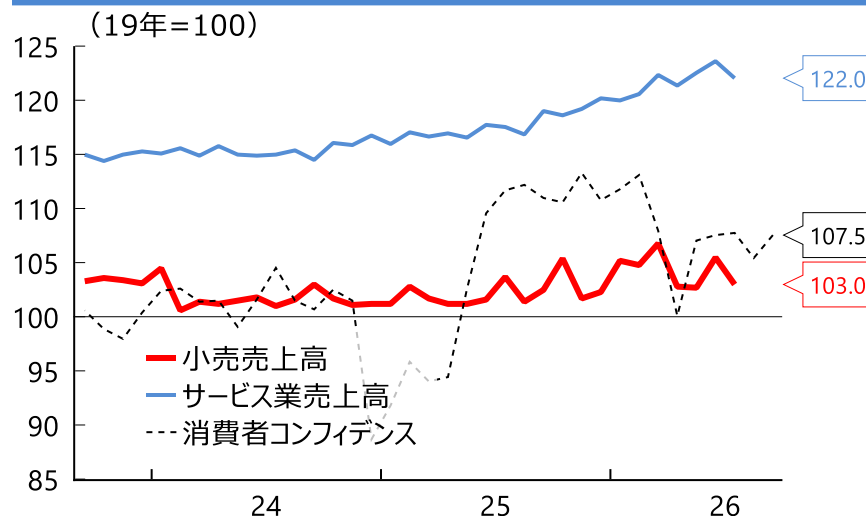
（出所） Macrobond、S&P Globalより第一ライフ資産運用経済研究所作成

PMI



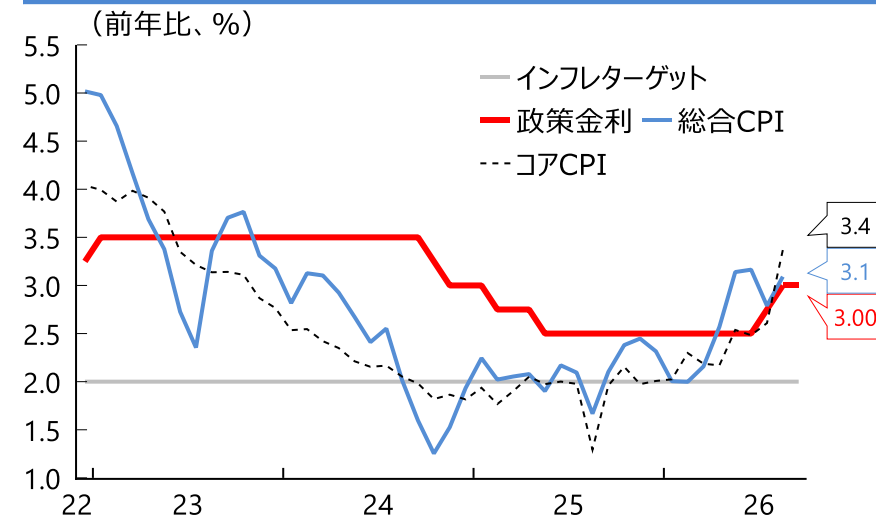
（注）直近は8月。

消費



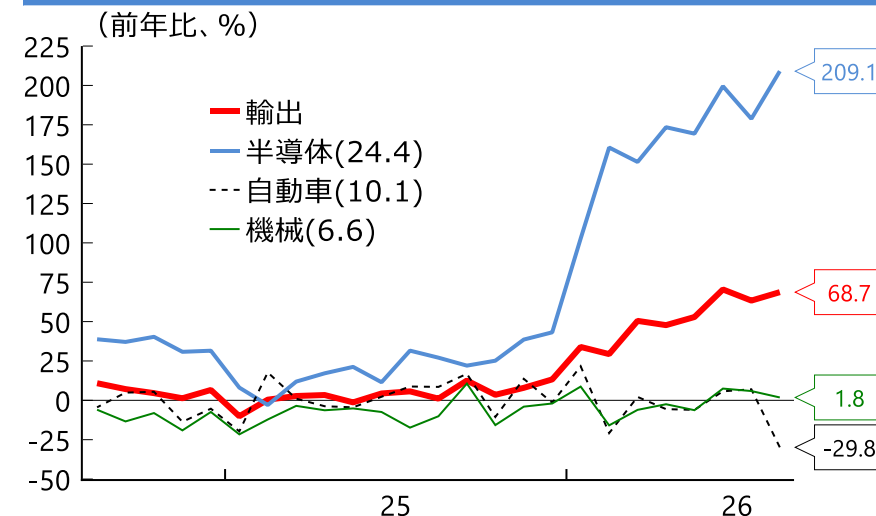
（注）直近は消費者コンフィデンスが8月、その他が7月。

インフレ率と政策金利



（注）直近は政策金利が9/23日、その他が8月。

輸出



（注）直近は8月。米ドル建ての輸出額。（）内は25年輸出額に占める割合。

■ PMIは拡大ペースが加速

8月の製造業PMIは62.5%と、前月（61.5%）から拡大ペースが加速。AI関連の先端サーバーや半導体の旺盛な受注が生産活動を牽引した。

■ インフレ率は鈍化

8月の総合CPIは前年比+2.0%と、前月（同+2.5%）から鈍化。食料価格の寄与が縮小し、総合CPIを押し下げた。台湾中央銀行は物価安定と景気拡大のバランスを考慮し、政策金利を据え置いている。

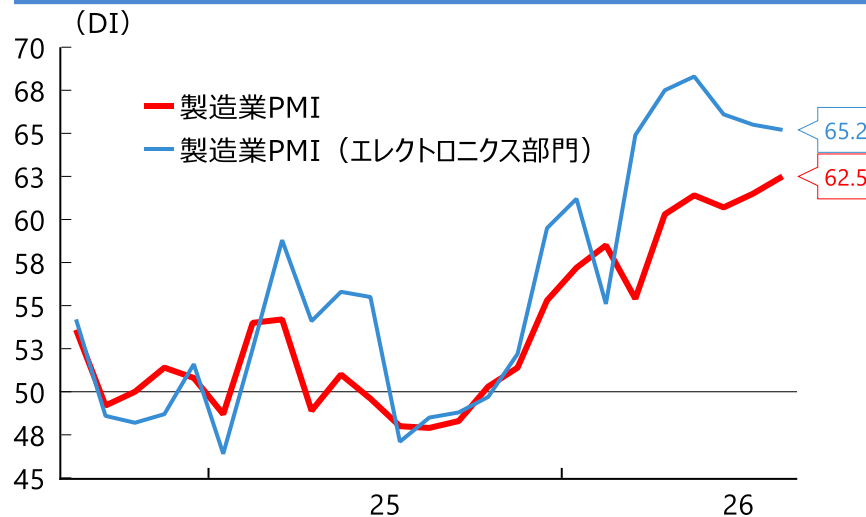
■ 消費は引き続き拡大

8月の実質小売売上高は前年比+4.8%と、前月（同+5.2%）に続き拡大。季節商戦や新型スマートフォンの発売等が重なり、堅調に推移した。

■ 輸出受注は引き続き増加

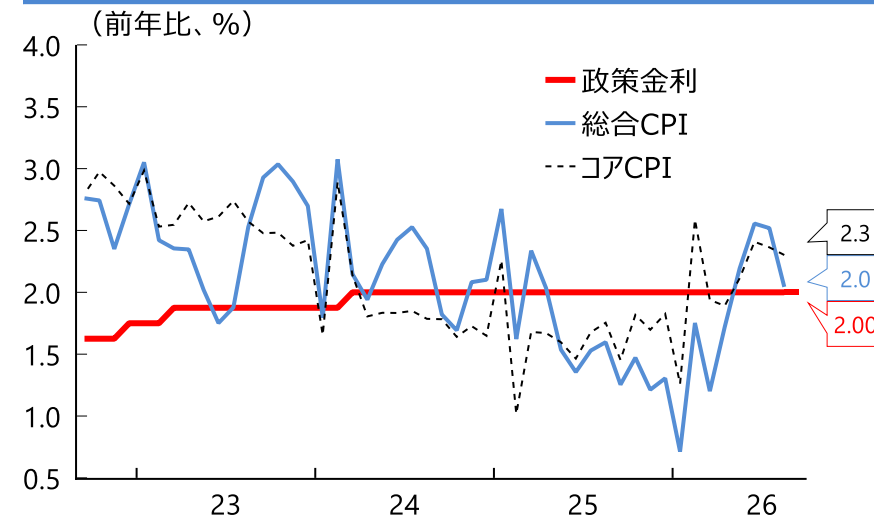
8月の輸出受注は前年比+71.4%と、前月（同+61.9%）から増加幅が拡大。AI・高性能コンピューティング需要を背景に、情報通信機器や電子部品の受注が引き続き増加した。

PMI



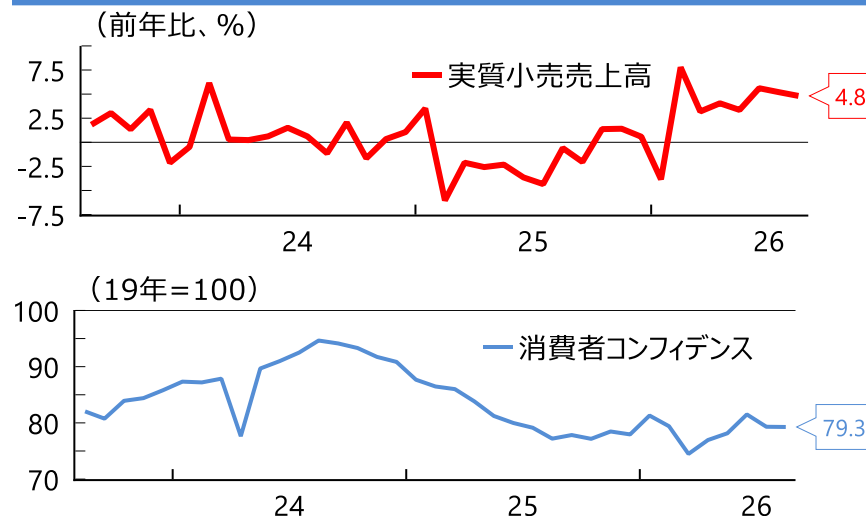
(注) 直近は8月。国家発展委員会の公表値。

インフレ率と政策金利



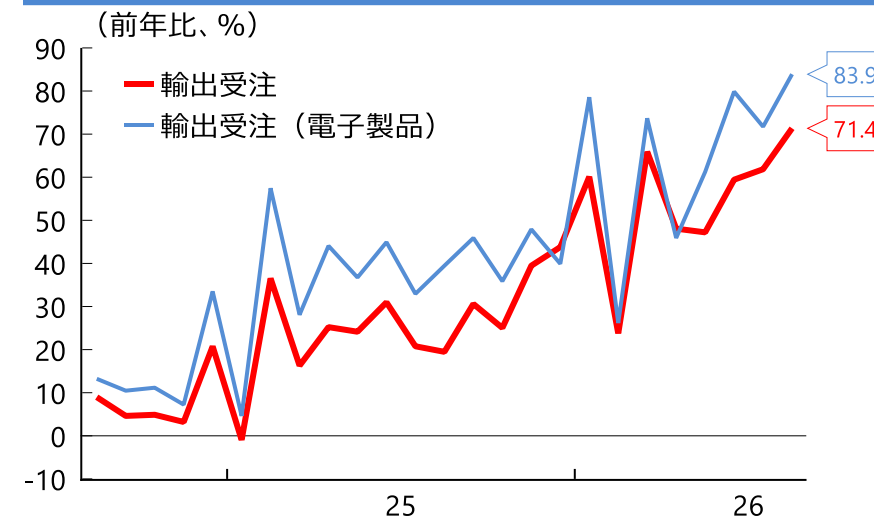
(注) 直近は政策金利が9/23日、その他が8月。

国内消費



(注) 直近は8月。

輸出受注



(注) 直近は8月。米ドル建ての輸出受注額。

■ PMIは縮小に転じる

8月の総合PMIは49.5と、前月（51.0）から悪化し、縮小に転じた。新規受注の伸び悩みや、中東情勢による国際物流コストの上昇が民間企業の景況感を圧迫した。

■ HKMAはFRBに追随して利上げ

8月の総合CPIは前年比+1.7%と、前月（同+1.7%）から横ばいで推移。9月17日、香港金融管理局（HKMA）は利上げを決定（+25bps、4.00%→4.25%）。前日にFRBが利上げを決定したことを受けて、これに追随した。

■ 消費は緩やかに増加

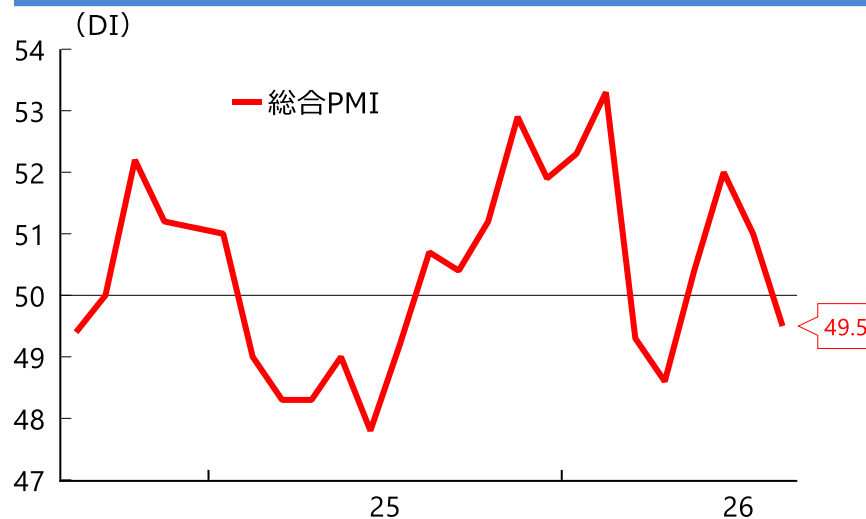
7月の実質小売売上高は前年比+2.4%と、前月（同+2.2%）に続き増加。週末を中心に香港住民が深センなど中国本土へ越境して買い物を行う「北上消費」により、域内の百貨店や外食チェーンの売上が伸び悩んだ。

■ 輸出は引き続き増加

7月の輸出量は前年比+31.7%と、前月（同+34.2%）に続き増加。AI関連を中心とする域内貿易の活発化により、輸出量が増加した。

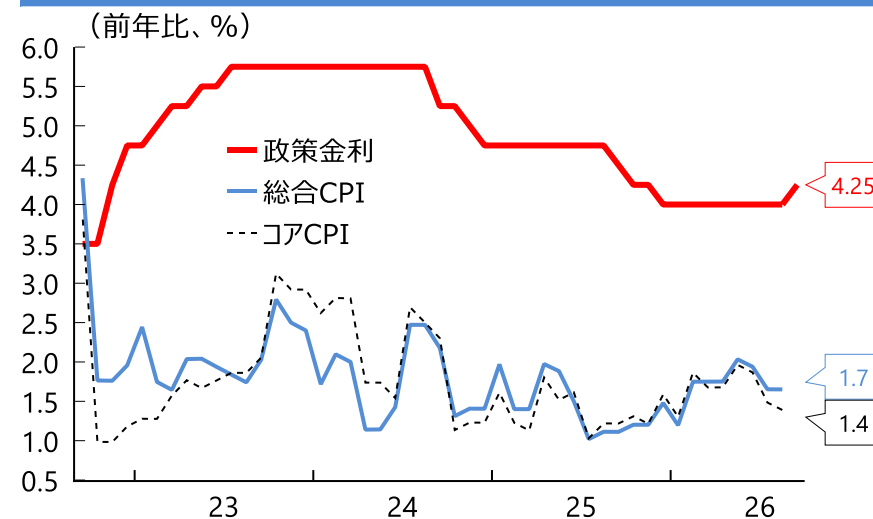
（出所）Macrobond、S&P Globalより第一ライフ資産運用経済研究所作成

PMI



（注）直近は8月。

インフレ率と政策金利



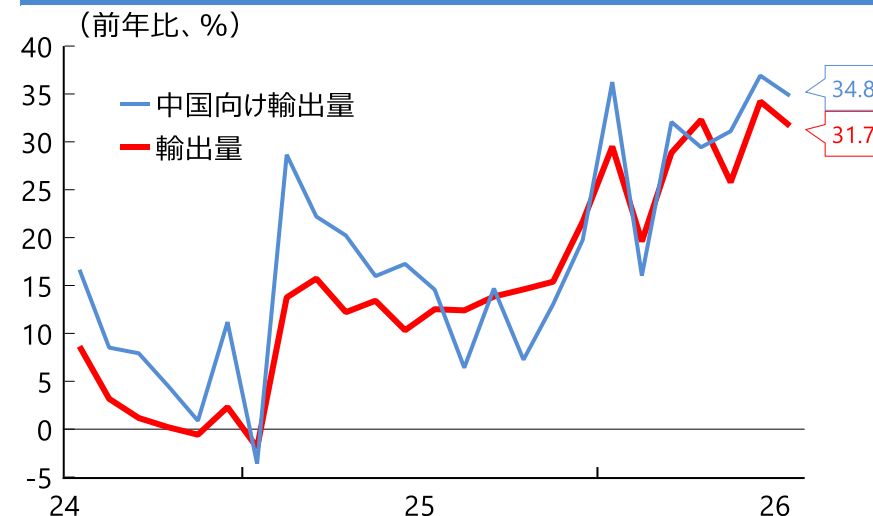
（注）直近は政策金利が9/23日、その他が8月。

国内消費



（注）直近は7月。

輸出



（注）直近は7月。再輸出を含む輸出量の指数。



■ PMIは引き続き拡大

8月の製造業PMIは51.5と、前月（51.4）に続き拡大。AIサーバーおよび先端半導体の旺盛な需要を背景に、エレクトロニクス部門が拡大を続け、製造業PMI全体を押し上げた。

■ 政策為替レートは増価

直近（7月27日）の金融政策では、シンガポール通貨金融庁（MAS）は、政策為替レートS\$NEERの誘導目標の傾斜を「若干引き上げる」とし、引き続き金融引き締めを実施。政策為替レートは足もとで141.83と増価。

■ 消費は増加幅が縮小

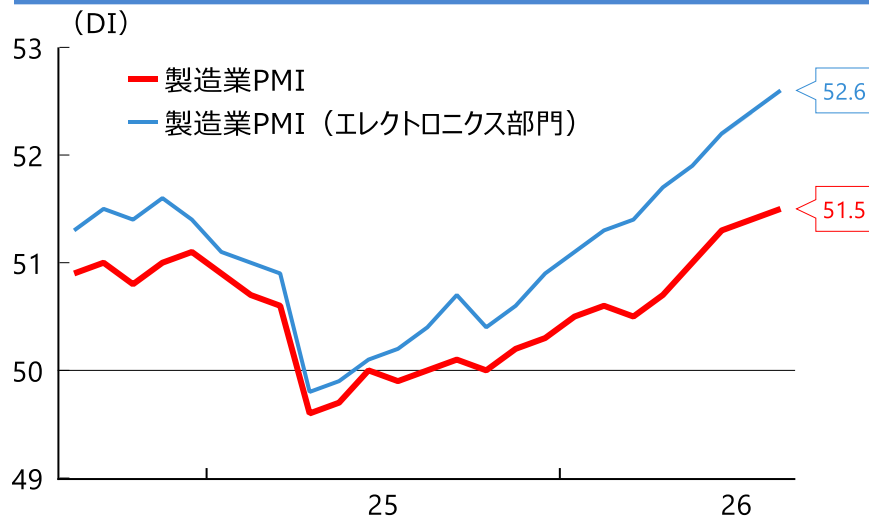
7月の実質小売売上高は前年比+1.5%と、前月（同+4.0%）から増加幅が縮小。8月の自動車登録台数も同▲1.4%と、前月（同+7.0%）から減少に転じた。

■ 輸出は増加に転じる

8月の実質輸出額は前年比+10.7%と、前月（同▲3.0%）から増加に転じた。AI関連の先端電子部品に対する世界的な需要により、非石油輸出を中心に、主要市場向けの輸出数量が大きく拡大した。

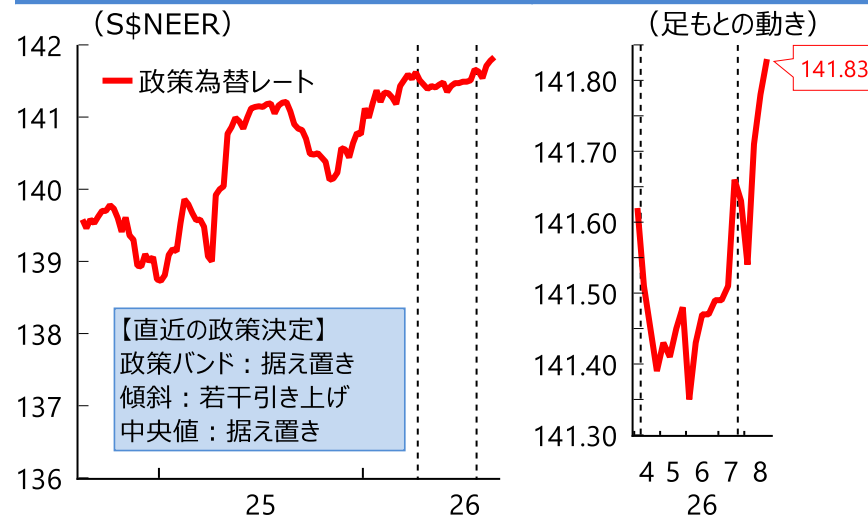
（出所） Macrobond、S&P Globalより第一ライフ資産運用経済研究所作成

PMI



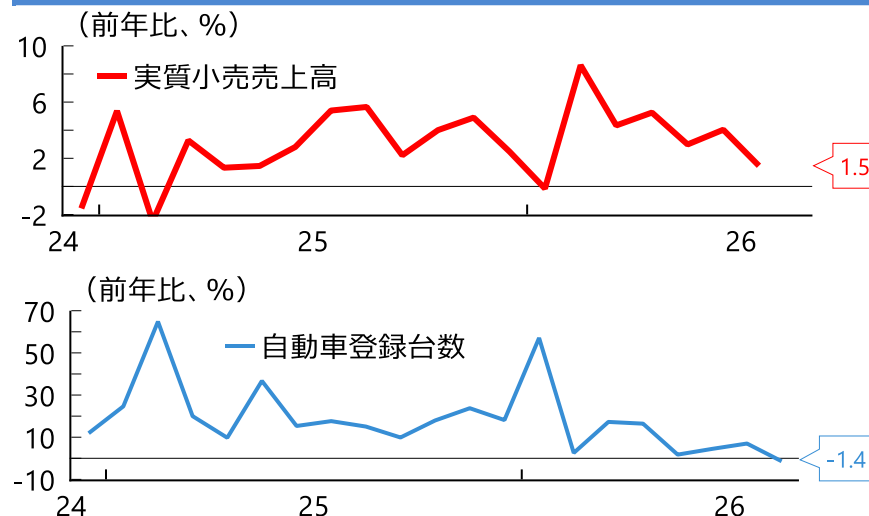
（注）直近は8月。シンガポール購買・原料管理研究所の公表値。

政策為替レート



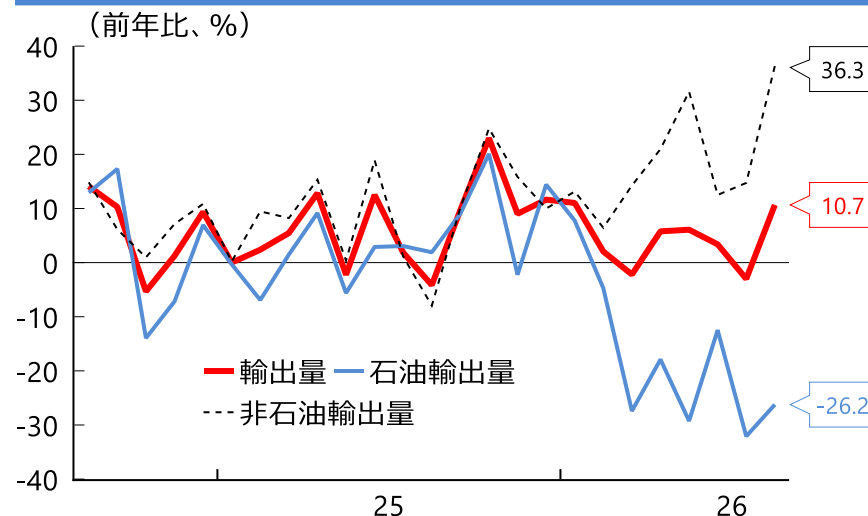
（注）直近は8/28日の週。破線は直近2回の政策決定タイミング。

国内消費



（注）直近は実質小売売上高が7月、自動車登録台数が8月。

輸出



（注）直近は8月。再輸出を除いた地場輸出の実質輸出額。



インドネシア

■ PMIは再び縮小に転じる

8月の製造業PMIは49.8と、前月（50.2）から悪化し、再び縮小に転じた。投入コストの上昇や海外需要の鈍化により、一部の工場で生産調整が行われたこと等が影響した。

■ BIは市場予想通りの据え置き

8月の総合CPIは前年比+3.2%と、前月（同+2.9%）から加速。一部の食料価格が上昇し、総合CPIを押し上げた。9月23日、インドネシア銀行（BI）は政策金利の据え置きを決定（5.75%）。据え置きは市場予想通り。声明文では、「2026年と2027年のインフレ目標2.5±1%内の達成を維持し、持続可能な経済成長を支援するなかで、ルピアの安定化とも整合している」とした。

■ 消費は増加に転じる

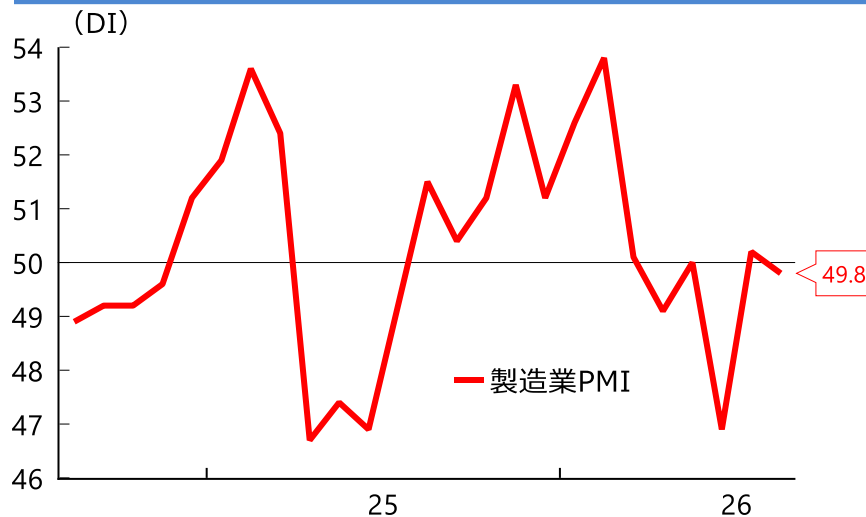
7月の小売売上高は前年比+1.2%と、前月（同▲3.0%）から増加に転じた。8月の中銀予測値は同+0.4%と、増加幅は縮小するものの、引き続き増加する見通し。

■ 輸出は引き続き増加

7月の輸出は前年比+6.0%と、前月（同+8.8%）に続き増加。

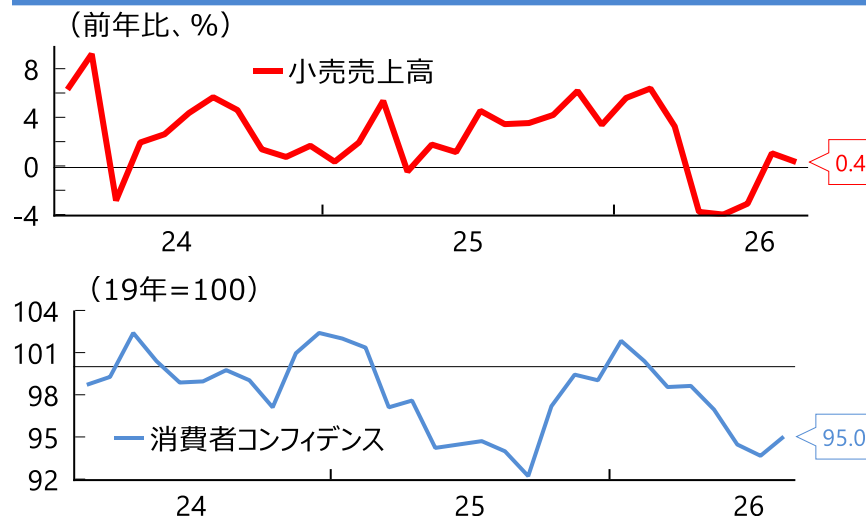
（出所）Macrobond、S&P Globalより第一ライフ資産運用経済研究所作成

PMI



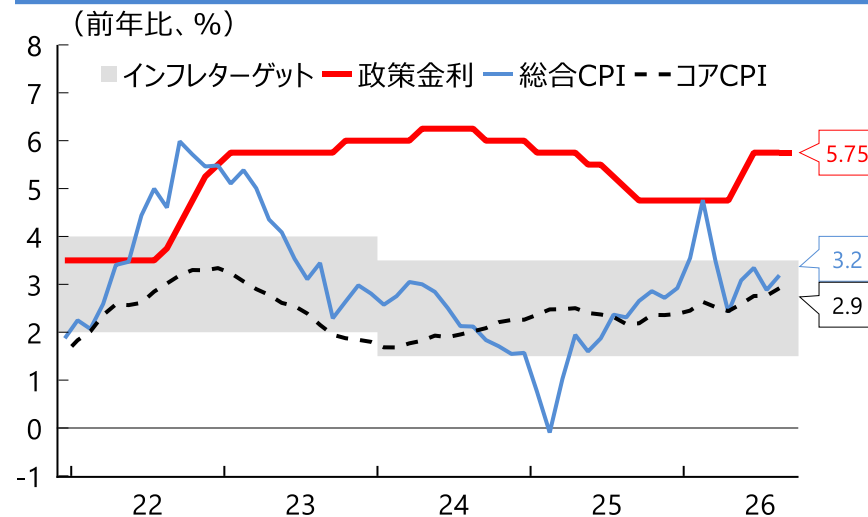
（注）直近は8月。

国内消費



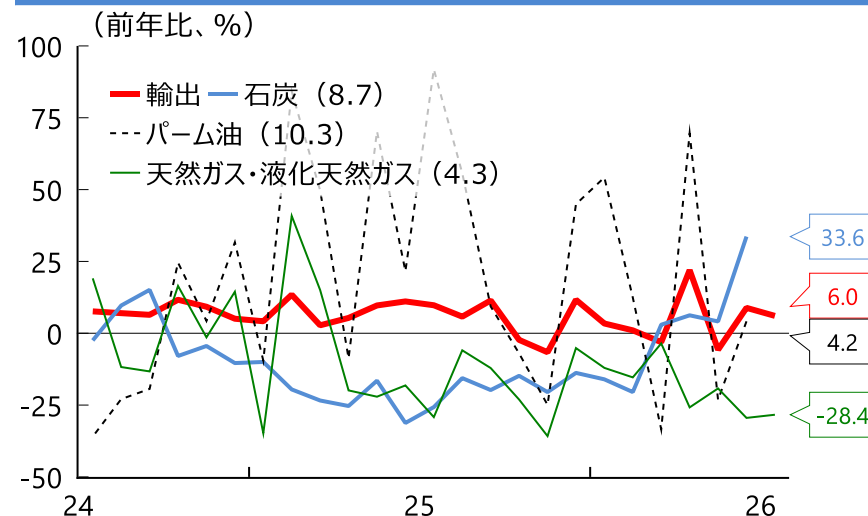
（注）直近は8月。小売売上高の直近値は中銀予測値。

インフレ率と政策金利



（注）直近は政策金利が9/23日、その他が8月。

輸出



（注）直近は石炭、パーム油が6月、その他は7月。（）内は25年輸出額に占める割合。



タイ



■ PMIは引き続き拡大

8月の製造業PMIは53.8と、前月（54.2）に続き拡大。生産指数と新規受注指数が拡大し、ヘッドラインを押し上げた。

■ BOTは市場予想通りの据え置き

8月の総合CPIは前年比+2.5%と、前月（同+1.9%）から伸びが加速。食料価格が上昇し、総合CPIを押し上げた。
8月26日、タイ中銀（BOT）は政策金利の据え置きを決定。据え置きは市場予想通り。声明文では「現在の政策金利が経済回復を支えるのに適切である」とした。

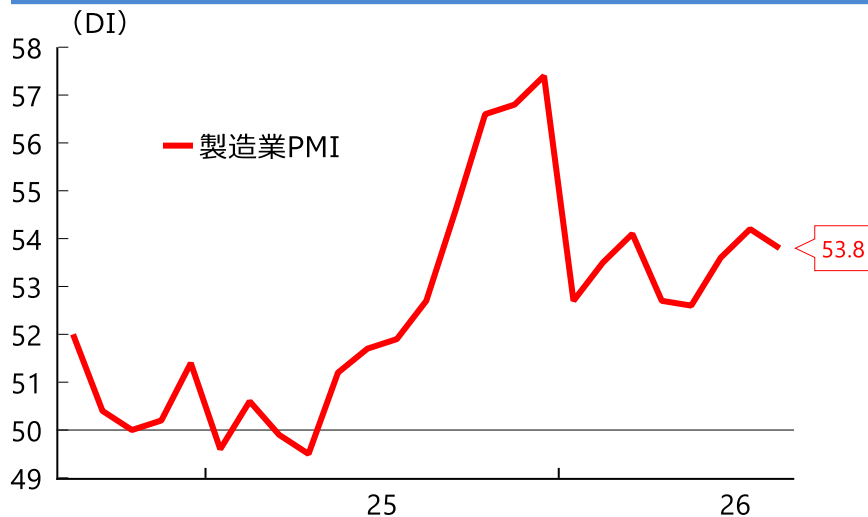
■ 消費は引き続き減少

6月の小売売上高は前年比▲18.3%と、前月（同▲18.2%）に続き減少。前年の裏要因に加え、エネルギー価格の上昇など家計負担の増加から、百貨店等の売上げが減少した。7月の新車販売台数は同+20.1%と5か月連続で増加し、回復の動きがみられる。

■ 観光客数は減少

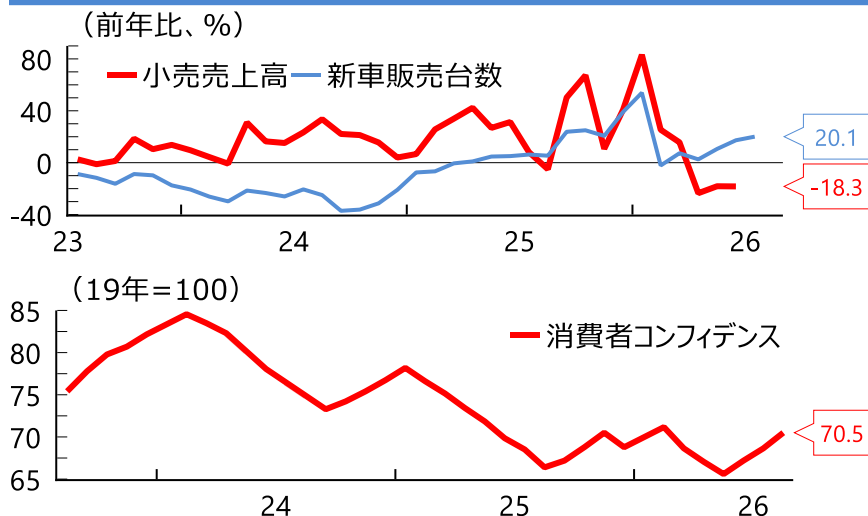
8月単月は約252万人、前年比▲2.6%と減少。中国からの観光客が同+17.6%と、前月（同+9.3%）と増加幅が拡大したものの、ASEAN諸国が同▲12.9%と引き続き減少した。

PMI



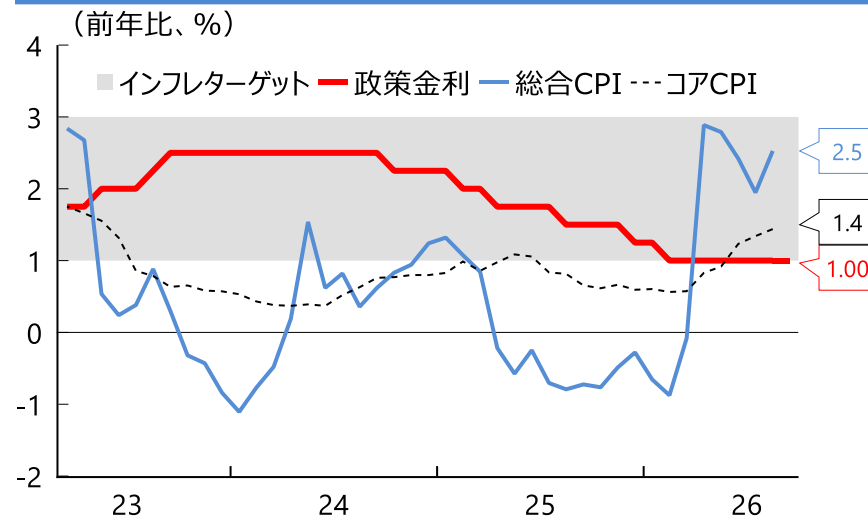
（注）直近は8月。

国内消費



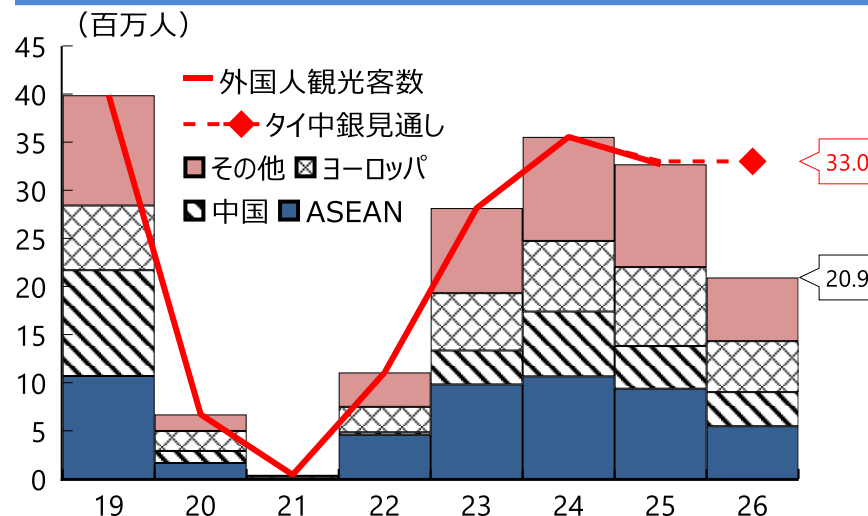
（注）直近は小売売上高が6月、新車販売台数が7月、消費者コンフィデンスが8月。

インフレ率と政策金利



（注）直近は政策金利が9/23日、その他が8月。

外国人観光客数



（注）26年は8月時点実績。



フィリピン

■ PMIは拡大ペースが加速

8月の製造業PMIは54.9と、前月（51.8）から拡大ペースが大きく加速。国内受注の増加と、旺盛な需要を受けた企業の積極的な在庫増強、雇用拡大がヘッドラインを押し上げた。

■ BSPはインフレ抑制の利上げ

8月の総合インフレ率は、前年比+6.1%と、前月（同+6.2%）からわずかに鈍化したものの、引き続きインフレ目標の範囲を上回って推移。

8月27日、フィリピン中銀（BSP）は利上げを決定（+25bps、4.75%→5.00%）。利上げは市場予想通り。声明文では、エルニーニョ現象や賃金上昇に対して先手を打つ重要性に触れつつ、「政策金利の段階的な引き上げにより、引き続きインフレ期待は安定し、追加的な二次的影響のリスクを抑制する見込みである」とした。

■ 新車販売台数は減少幅が縮小

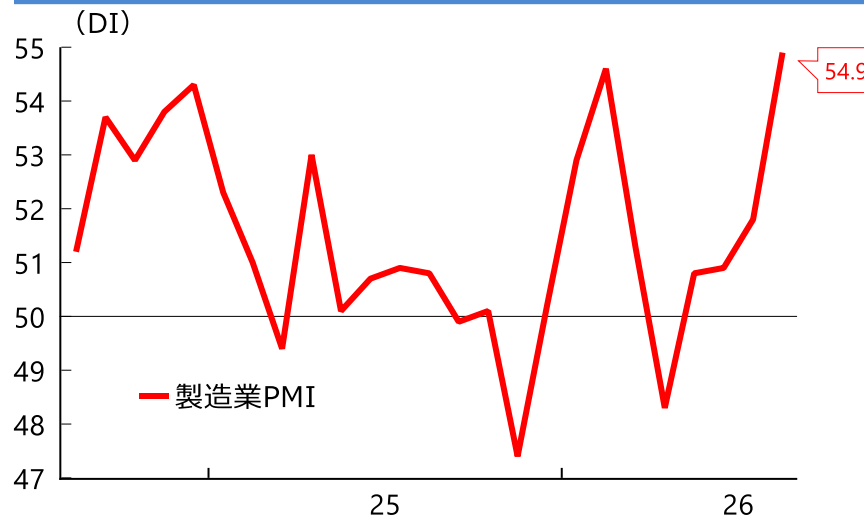
7月の新車販売台数は前年比▲2.5%と、前月（同▲8.0%）から減少幅が縮小。

■ 輸出は増加幅が減少

7月の輸出は前年比+10.8%と、前月（同+25.0%）から増加幅が縮小。

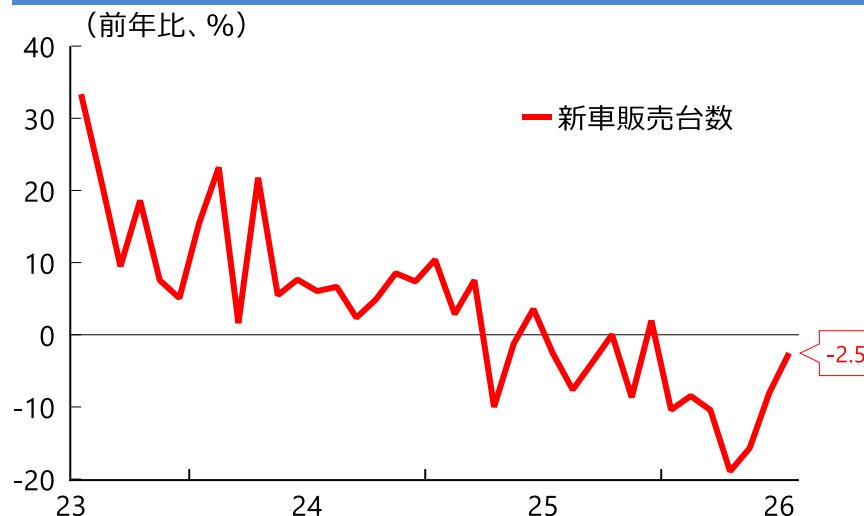
（出所）Macrobond、S&P Globalより第一ライフ資産運用経済研究所作成

PMI



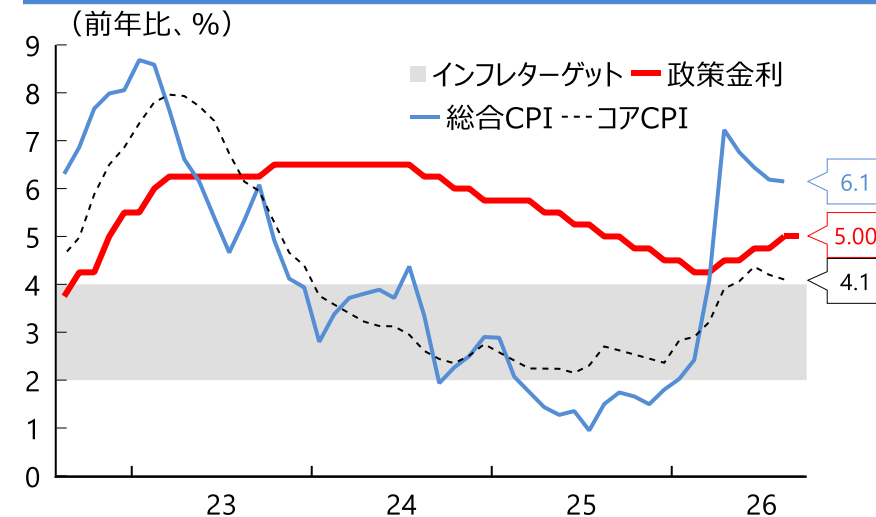
（注）直近は8月。

国内消費



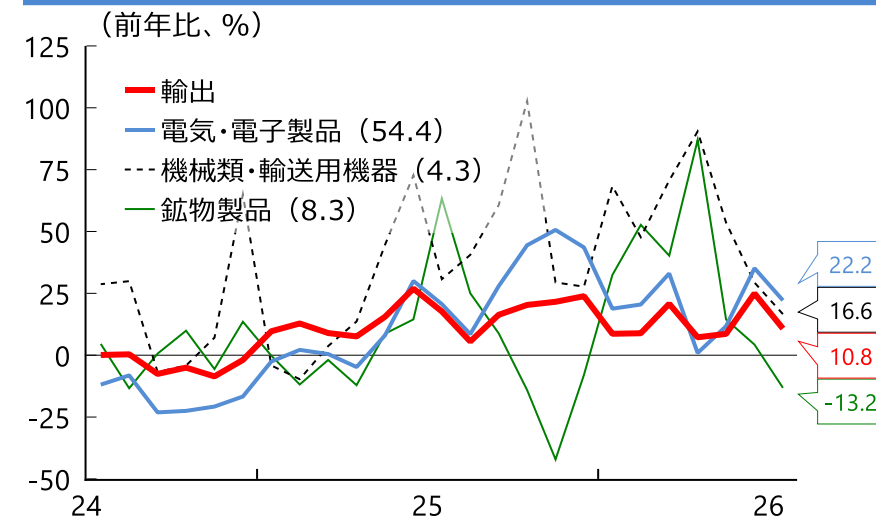
（注）直近は7月。

インフレ率と政策金利



（注）直近は政策金利が9/23日、その他が8月。

輸出



（注）直近は7月。（）内は25年輸出額に占める割合。



マレーシア

■ PMIは拡大ペースが鈍化

8月の製造業PMIは50.2と、前月（50.7）から拡大ペースが鈍化。

■ BNMは市場予想通りの据え置き

8月の総合CPIは前年比+1.9%と、前月（同+1.8%）からわずかに加速。ディーゼル燃料補助金の見直しに伴う輸送コストの上昇等が総合CPIを押し上げた。

9月3日、マレーシア中銀（BNM）は政策金利の据え置きを決定。据え置きは市場予想通り。声明文では「現在の政策金利水準における金融政策スタンスについて、物価の安定維持および持続的な経済成長の見通しと整合的である」とした。

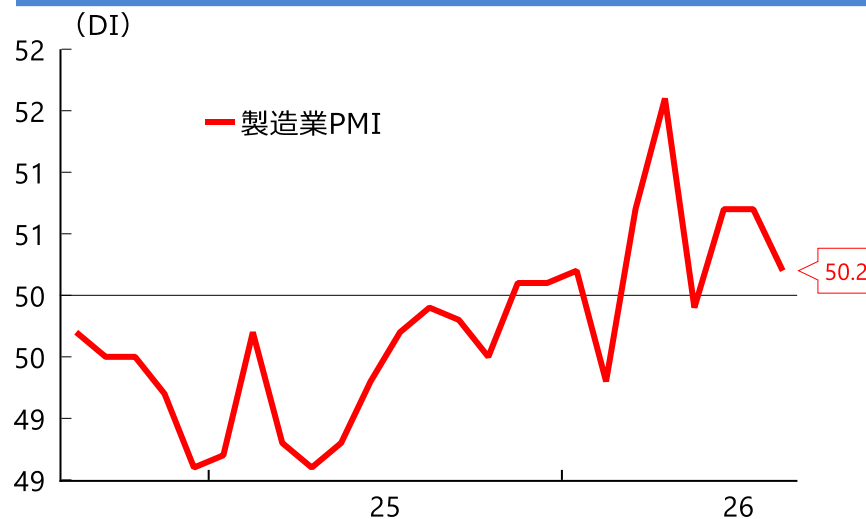
■ 消費は引き続き増加

7月の小売売上高は前年比+4.1%と、前月（同+4.2%）に続き増加。7月の新車販売台数は同+5.1%と、前月（+23.8）から増加幅は縮小したものの、増加を維持した。

■ 輸出は増加幅が拡大

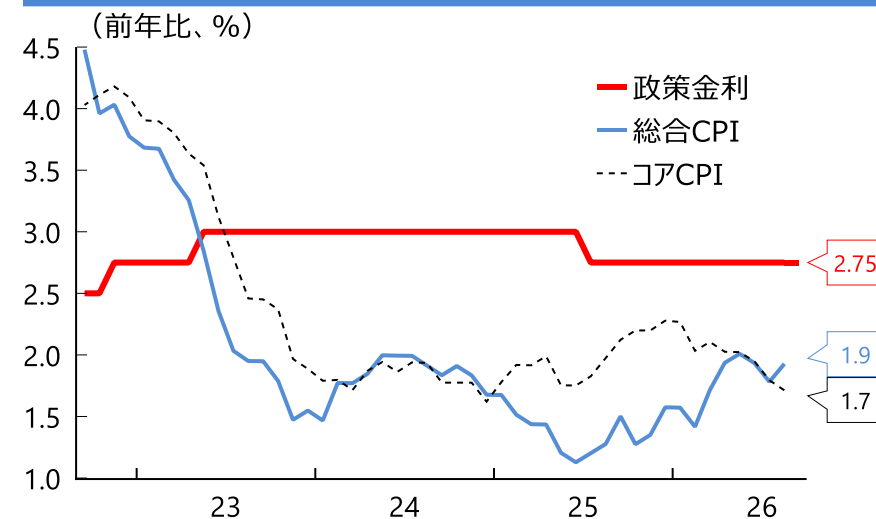
8月の輸出は前年比+45.5%と、前月（同+38.0%）から増加幅が拡大。半導体、電気・電子機器の輸出が米国やアジア向けに増加し、輸出を支えた。

PMI



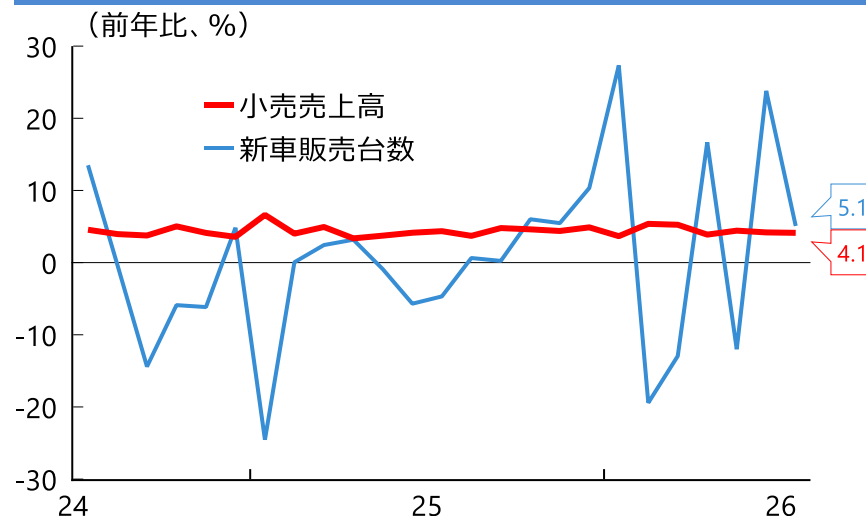
（注）直近は8月。

インフレ率と政策金利



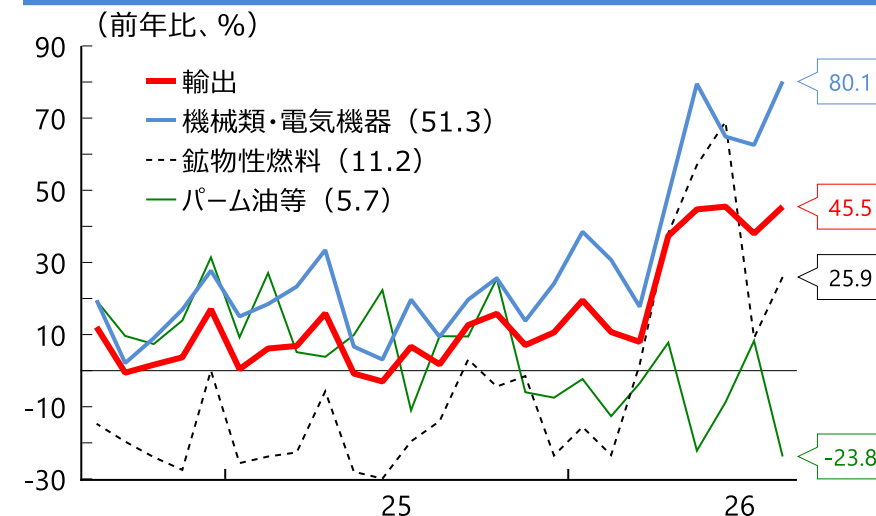
（注）直近は政策金利が9/23日、その他が8月。

国内消費



（注）直近は7月。

輸出



（注）直近は8月。現地通貨建ての輸出額。（）内は25年輸出額に占める割合。12



ベトナム



第一ライフ資産運用経済研究所

Daiichi Life Group

■ PMIは引き続き拡大

8月の製造業PMIは53.3と、前月（52.9）に続き拡大。新規受注の増加がヘッドラインを押し上げた。

■ インフレ率は加速

8月の総合CPIは前年比+4.9%と、前月（同+4.4%）から加速。ガソリンおよび軽油の値上げにより輸送費のプラス寄与が拡大し、ヘッドラインを押し上げた。

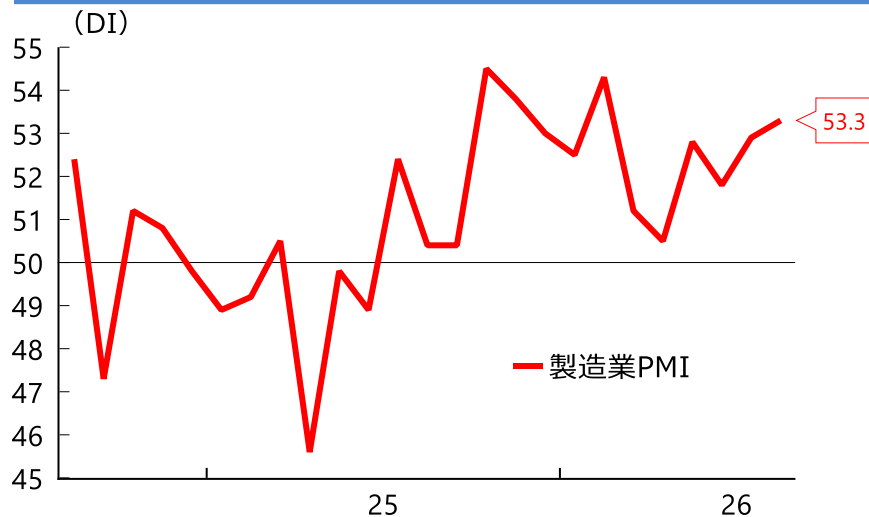
■ 消費は引き続き増加

7月の小売売上高は前年比+16.7%と、前月（同+16.2%）に続き増加。観光関連や宿泊・飲食サービスを中心に増加した。8月の当局予測値は同+15.8%と、引き続き増加する見通し。8月の新車販売台数は同▲12.9%と、前月（同▲5.0%）に続き減少。

■ 輸出は引き続き増加

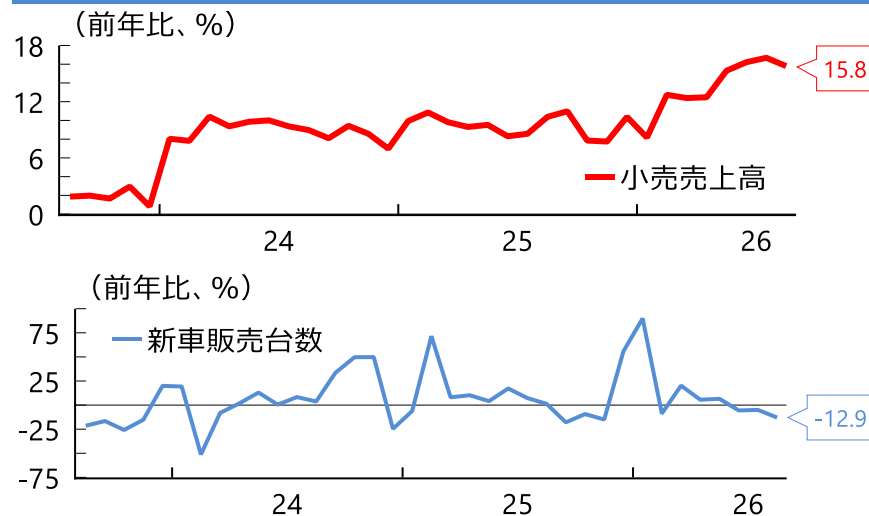
8月の輸出は前年比+29.5%と、前月（同+28.3%）に続き増加。電子製品や機械設備等、幅広いカテゴリーで輸出が増加した。

PMI



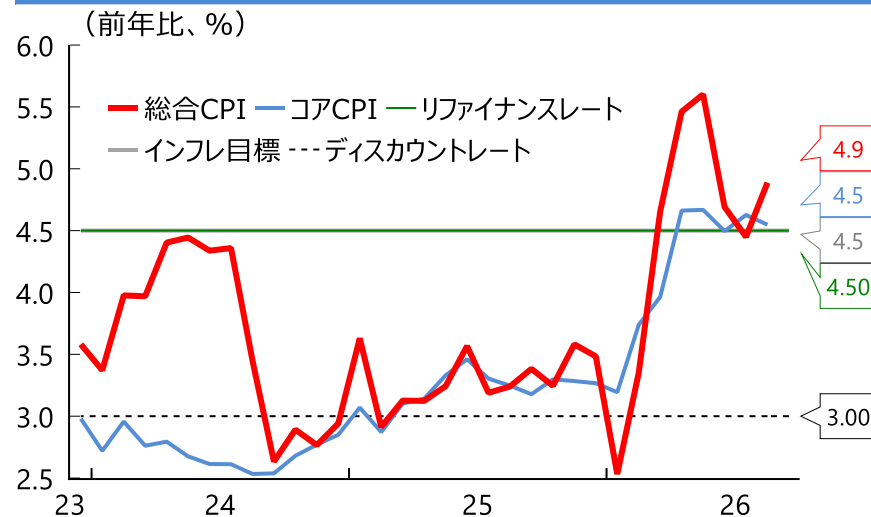
(注) 直近は8月。

国内消費



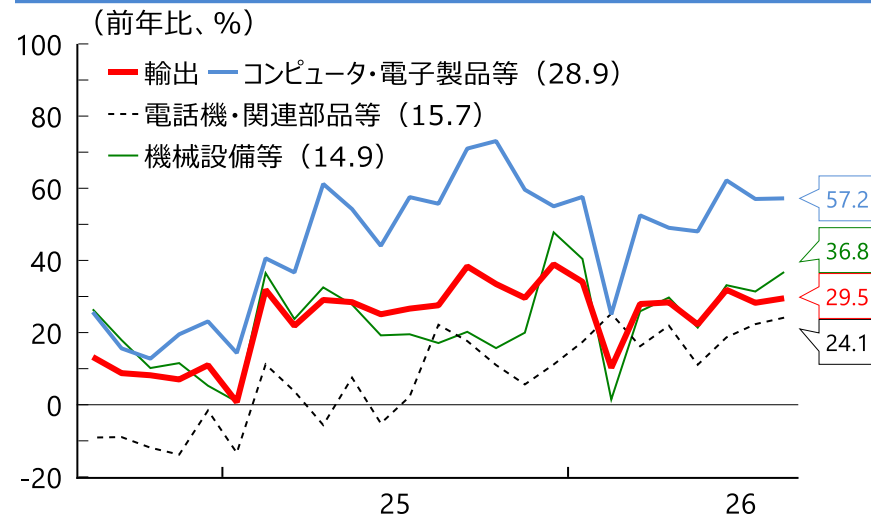
(注) 直近は8月。小売売上高の直近値は当局予測値。

インフレ率と政策金利



(注) 直近はリファイナンスレート、ディスカウントレートが9/23日、その他が8月。

輸出



(注) 直近は8月。米ドル建ての輸出額。()内は25年輸出額に占める割合。



オーストラリア

■ PMIは拡大ペースが鈍化

9月の総合PMIは50.8と、前月（52.7）から拡大ペースが鈍化。製造業PMIは49.3と、前月（52.0）から悪化し、縮小に転じた。生産指数が縮小するもと、新規受注指数が縮小に転じ、ヘッドラインを押し下げた。

■ インフレ率は目標を上回って推移

7月の総合CPIは前年比+3.5%と、前月（同+3.8%）から鈍化。連邦政府が実施している燃油税を半減させる物価抑制策が延長され、輸送費のプラス寄与が縮小した。もっとも、基調的な物価を示すトリム平均CPIは同3.6%と、前月（同3.6%）から横ばいで推移しており、引き続きインフレ目標の範囲を上回って推移している。

■ 消費は引き続き増加

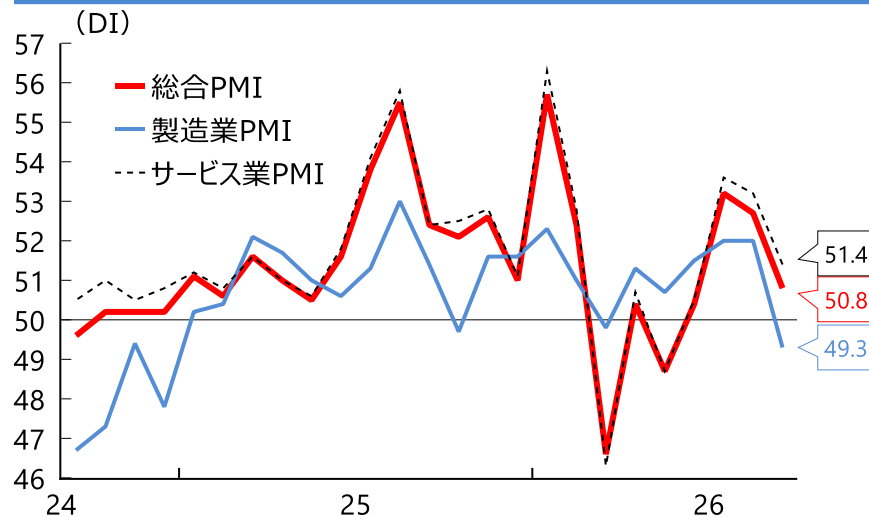
7月の家計支出は前期比+1.1%と、前月（同+1.0%）に続き増加。幅広いカテゴリーで支出が増加し、減税効果や賃金上昇が消費を後押しした。

■ 輸出は減少に転じる

7月の輸出は前期比▲3.3%と、前月（同+10.1%）から減少に転じた。鉄鉱石価格の低下や一部金属資源の輸出減少が影響した。

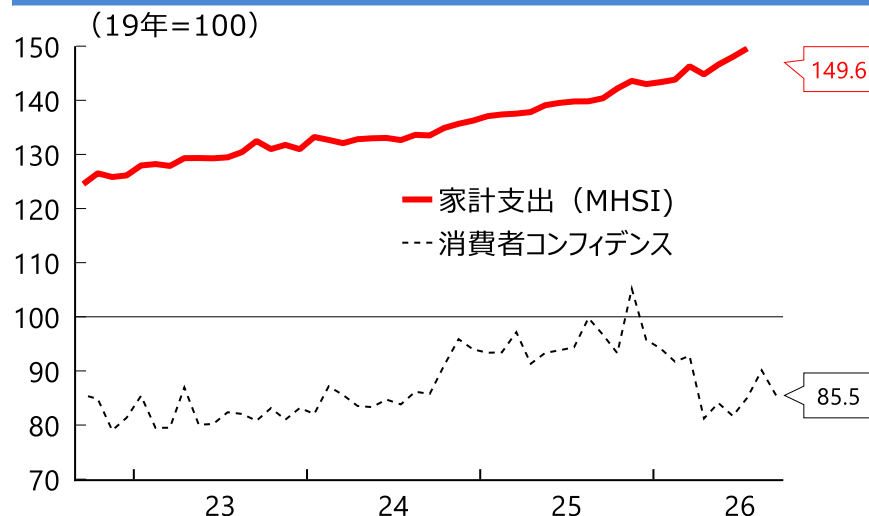
（出所） Macrobond、S&P Globalより第一ライフ資産運用経済研究所作成

PMI



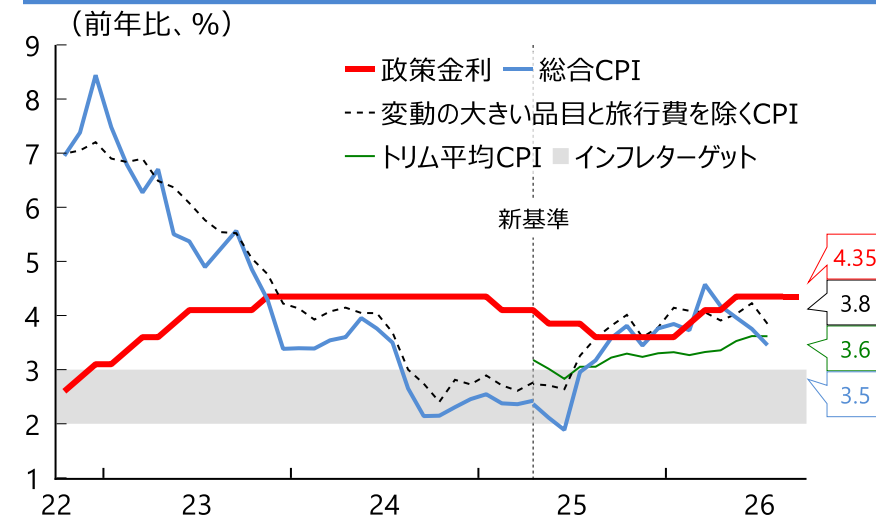
（注）直近は9月。

消費と住宅投資



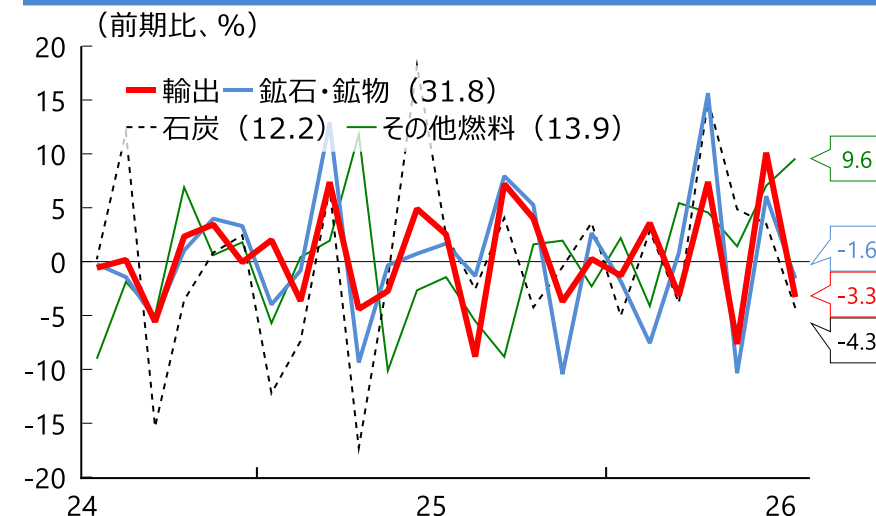
（注）直近は消費者コンフィデンスが9月、家計支出が7月。SA系列。

インフレ率と政策金利



（注）直近は政策金利が9/23日、その他が7月。25/4月以降は新基準の月次CPI前年比。

輸出



（注）直近は7月。SA系列。()内は25年輸出額に占める割合。



ニュージーランド

■ PMIは引き続き拡大

8月の総合PMIは51.6と、前月（51.1）に続き拡大。製造業PMIは53.1と、前月（54.3）から拡大ペースが鈍化したものの、サービス業PMIの拡大ペースが加速した。

■ RBNZはインフレ抑制の利上げ

4～6月期の総合CPIは前年比+4.1%と、前期（同+3.1%）から加速。中東情勢の悪化を受けて燃料価格が上昇し、総合CPIを押し上げた。

9月2日、RBNZは利上げを決定（+25bps、2.50%→2.75%）。利上げは市場予想通り。声明文では「インフレ率を目標の中間値である2%に戻しつつ、経済成長と雇用を維持するためには、金融緩和策を段階的に縮小することが適切である」とした。

■ 消費は減少に転じる

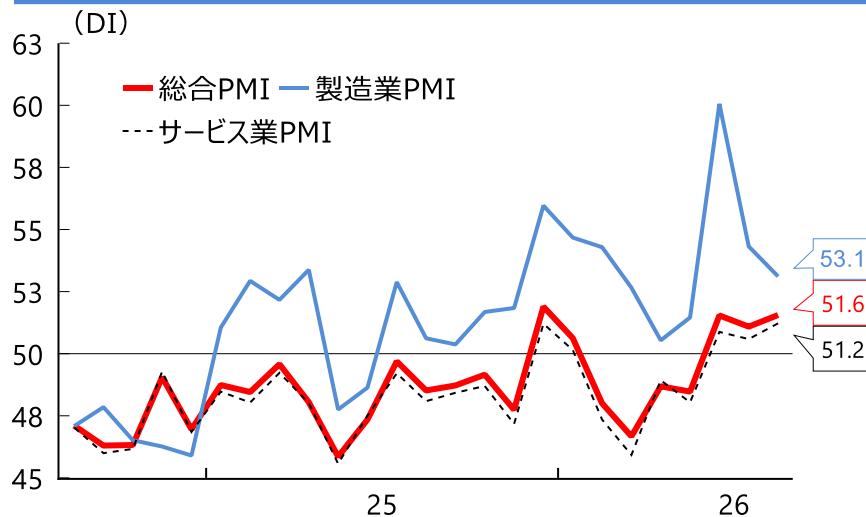
4～6月の小売売上高は前期比▲0.5%と、前期（同+1.0%）から減少に転じた。8月のクレジットカード等取引は同▲0.5%と、前月（同+0.9%）から減少に転じた。

■ 輸出は増加に転じる

8月の輸出は前期比+7.0%と、前月（同▲4.3%）から増加に転じた。

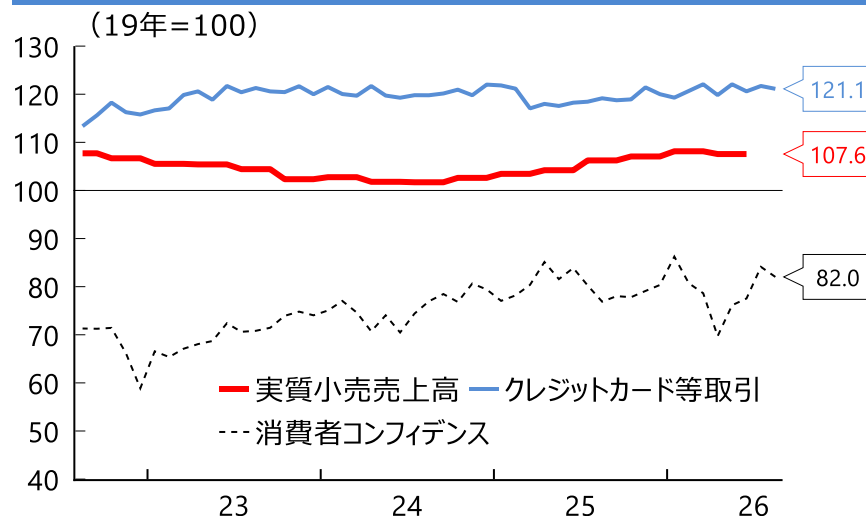
（出所）Macrobond、S&P Globalより第一ライフ資産運用経済研究所作成

PMI



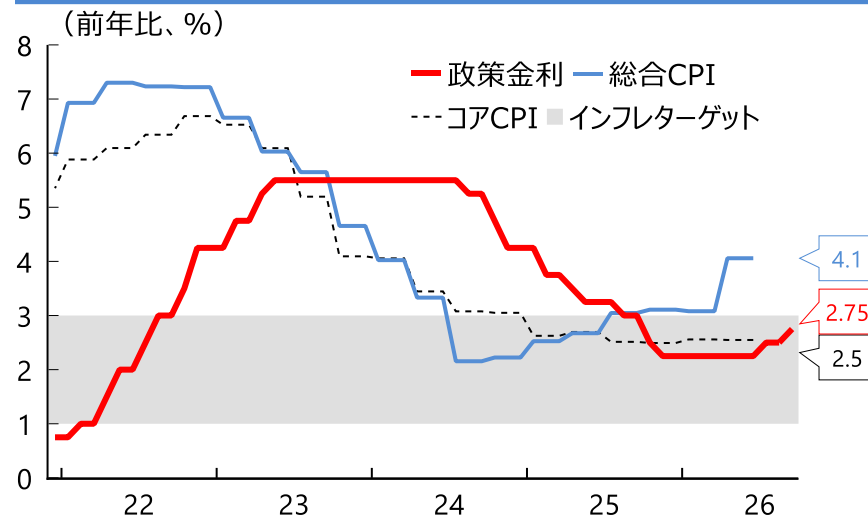
（注）直近は8月。

消費



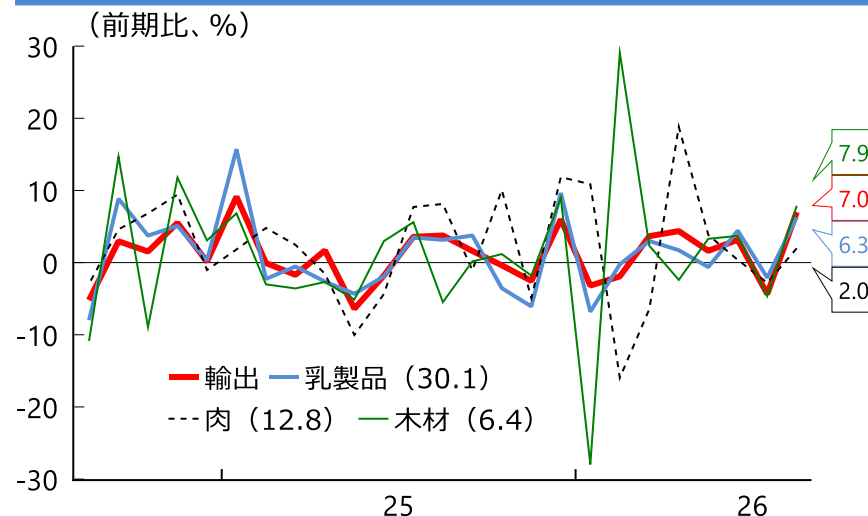
（注）直近は小売売上高が26/2Q、その他が8月。SA系列。

インフレ率と政策金利



（注）直近は政策金利が9/23日、その他が26/2Q。

輸出



（注）直近は8月。SA系列。（）内は25年輸出額に占める割合。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一ライフ資産運用経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。